

旧ユーゴの子供達へ一足早いXマス・プレゼント

「ポシェット」配布 始まる

本会青年部員
の第一次隊
まずクロアチア国内で

旧ユーゴの子供たちに「足早いクリスマス・プレゼント」。『愛のポシェット運動』（主催・難民を助ける会）に寄せられたポシェットの配布活動が、現地入りした本会青年部員によって旧ユーゴスラビア各地で九日（現地時間）から始まった。活動はクロアチア国内で順調に進んでおり、セルビア国内を含め、今月中にも、五万三千個すべてが、子供たちに手渡される見込みだ。

配布活動を展開している。活動は十七日まで続けられる予定。その後も、十六日からは第二次隊として青年部員八人が、第三次隊とし

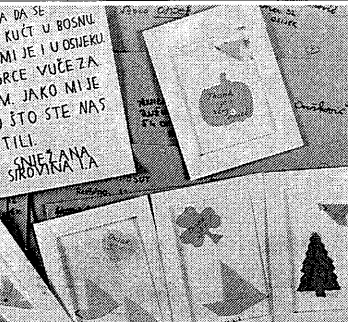


配布活動に当たっているのは本会ボラティア隊のうち、第一次隊として現地のを訪れている青年部員一十四人。

では休日にもかかわらず、五百人近い児童たちが集まってきた。その周りを子供たちの家族が取り囲む。

「モリム（ありがとう）」。

七日、現地入りしたメンバーは、九日から三隊に分かれ、クロアチア国内で配布活動を開始した。そのうち二隊はこれまで、プーラを訪れ、小学校を中心に配布活動を行っている。一日平均四、五校の教室、講堂、体育館などに直接、子供たち一人一人にポシェットをプレゼントしている。プーラにある小学校



二隊は十一日にプーラの難民キャンプを訪れ、戦禍を逃れた子供たちにポシェットを手渡した。また、他の一隊もオシエクを中心に